



中村俊定文庫
文庫 18
814





吉備乃岡山支考の他
 の縁を以てあはれり
 他れ風神をさるる申
 子坤
 ひりう赤洲南島の
 所平
 入て西風哉
 唱らるや
 其の
 同

志乃任法よりよわてば名を
輝し多くに吉縁乃歌をさる
あはれうわ能徳もむらうしそ
子身し徳より世夢を近して
月夜を花の二西の羽衣の地

不記なるしちのむのまめが
路より成遂たりあし大祥
己ふそま進移るまの記人
ひやのまをささわはせ
一葉成はるまのおのれと叙

昔よりあるに因縁阿母の
辭はるゝと云ふなくいさゝの
上美木の志を迷らばし

又政丙戌喚す 養大以



辞在

字之其之

字之其之

字之其之



有景寫

うらふらふあはれし〜なうふ〜り
うらふらふあはれし九輪ととわらひきり
うらふらふあはれし〜とと〜り

あはれし〜り

あはれし〜りあはれし〜り

あはれし〜り

あはれし〜りあはれし〜り

あはれし〜りあはれし〜り
あはれし〜りあはれし〜り
あはれし〜りあはれし〜り

あはれし〜り

あはれし〜りあはれし〜り
あはれし〜りあはれし〜り
あはれし〜りあはれし〜り

友

卯乃もふつちお持ひく小家う形
おらきちほい果たりりりーヤセサ
すし人を物もききや かんさしり
くくくくくー 狂ー 田か
ちちちーの自由とおいひ
おもひを繋まるはほよふ
くくくくくくー 狂人
くくくくくくくくくくー まじ

まつおを時すまき後移りす子記
すくくくくくくくくくく 夏乃月

秋

ニツかきこ有さをあーくさあつ
くあやきくくくくくく 年々

サレニ又三

くくくくくくくくくく 月一ツ

わらわぬのききき小 鳴くはき
ふーききわらわらや 確かなるきき
すーききわらわらきき 案山よき

麻十郎のうらふ

麻十郎のうらふ 山ききき みるはき
わらわらわらわら 増おわ ちききき
きききき人あき 確を白ひきき
わらわらわらわら 麻十郎ききき

冬

ききき 山 敬 山 や 冬 乃 月
きききききききききき 確きき
きききききききききき 確きき
木 枯 々 々 々 々 々 々 大 根 畑
きききききききききき 確きき

ふ 恐 大 危 乃 危 々 々 々 々 々

月 不 疑 々 々 一 々 二 百 六 十 日

ひるもかきすねいふしん

信夜も雪と少人ふらとたうふり

歌俣行

子伸

おはむにけし守室も月乃おむらふ

志ほく袖ふらうね梅さき

今抱ふかえ根くろ凍とけく

繩手乃中子言た土く

一志きう市も張ふ水魚鈔

乃わくおりよむくぬ水仙

きんおよあさ紅乃紋とうけ

蘭秀

桂秋

其江

子雄

白玉

南江

おきまゝのちまき手をつくる房 青荏

あゝとちまきとあゝとちまき 按乃介 瓢水

あゝとちまきとちまきとちまき 賞選

ふ川乃ちまきとちまきとちまき 蓬壺

手拭いしちまきとちまき 敬之

地車しとちまきとちまき 月菰

あゝとちまきとちまきとちまき 緑袴

あゝとちまきとちまきとちまき 豊見

うみかゝしちまきとちまき 麦里

あゝとちまきとちまきとちまき 如毛

あゝとちまきとちまきとちまき 稻坡

あゝとちまきとちまきとちまき 守皇

あゝとちまきとちまきとちまき 壺仙

あゝとちまきとちまきとちまき 君山

あゝとちまきとちまきとちまき 巴調

あゝとちまきとちまきとちまき 五葉

風ふり〜〜供御のつらき〜一轉

此浦大々鳴る〜〜小洲

能登り七尾へ〜〜松下

世々〜〜樂水

たふ〜〜加免

浪津浪乃漲る〜〜李洞

お鍋ふ〜〜粥 樗堂

人志乃小君を〜〜や〜秀

〜〜耳ふ〜〜秋

口竹乃如〜〜江

〜〜戸た〜〜雄

件乃〜〜委然

魂も〜〜執筆

追悼各詠

子 坤翁 一年 好 年 好 年
まゝえ まゝえ まゝえ まゝえ
白 なやまのいし

梅仙

あまののりすしとせむりや
えんちのねとまゝまゝふ

寿茂母

あまのらけとまゝまゝ
あまのまゝまゝまゝ

あまのらけとまゝまゝ
あまのまゝまゝまゝ

尚文

あまのらけとまゝまゝ
あまのまゝまゝまゝ
あまのらけとまゝまゝ
あまのまゝまゝまゝ
あまのらけとまゝまゝ
あまのまゝまゝまゝ

丁 ねらるるまゝまゝ
あまのらけとまゝまゝ
あまのまゝまゝまゝ
子 雄

よいかんよかん

清きうもけいしきくもあはれふ鳥

晋以鹏

子神老人の終焉をばけり

あはれかたきまきしき

蒼乳

出雅るる集門のさしゆり松
古きわたり中なる松
終るる人なる松
未だなる松

あはれかたきまきしき

あはれかたきまきしき

百花

あはれかたきまきしき

徑松

あはれかたきまきしき

君山

あはれかたきまきしき

如毛

あはれかたきまきしき

白玉

あはれかたきまきしき

青雀

あはれかたきまきしき

瓢水

廿

言ひ終らぬ びんごう ぼんごう

鶯遷

月就 ちんごう ぼんごう

稻坂

さくもよ ちんごう ぼんごう

李洞

ちんごう ぼんごう 浄土 けし 春の 宿

桂秋

ちんごう ぼんごう 先ツ かり 梅 ちんごう 水

真江

ちんごう ぼんごう ちんごう 佛 とも

麦里

ちんごう ぼんごう ちんごう 舟の ちんごう ちんごう

宇皇

ちんごう ぼんごう ちんごう 梅 ちんごう ちんごう

壺仙

ちんごう ぼんごう ちんごう ちんごう ちんごう

巴調

ちんごう ぼんごう ちんごう 魂 ちんごう ちんごう

五葉

ちんごう ぼんごう ちんごう ちんごう ちんごう

蓬壺

ちんごう ぼんごう ちんごう ちんごう ちんごう

月菡

ちんごう ぼんごう ちんごう ちんごう ちんごう

教之

ちんごう ぼんごう ちんごう ちんごう ちんごう

緑綺

ちんごう ぼんごう ちんごう ちんごう ちんごう

女 かめ

一 枝の ちんごう ちんごう ちんごう

豊見

出づぬきやまみー田 蘭秀

文考 新筆畧

あゝまひかひあゝまひ月 松 下津井 下

清くくきききききき雪 佛 今 樂水

なつーや月花よらうの華の跡 今 弄花

抱丸をもや一年しおきききき 洛 其成

まほろーふらうやあたるの山 梅 全 月峰

わくろくあゝあゝあゝあゝやあめ白輝 浪華 雪

出山 猿 七 老人 乃

本 事 十 二 毎 目 八 十 一

ん かん かん かん かん

ん かん かん かん かん

ん かん かん かん かん

ん かん かん かん かん

そこの明らぬの
月子
あはれ
し
ん

晋
郎
子

蕉門書林

皇都寺町通二條

橘屋治兵衛梓

